

[普及事項]

新技術名： リンゴ及びナシ新殺菌剤の実用化（昭和60～平成8年）

研究機関名 果樹試験場環境部病害担当
担当者 浅利 正義・深谷雅子他2名

[要約]

ベルコート水和剤1,000倍はリンゴの生育期後半（8月中旬以降）の主要病害に、同1,500倍はナシの落花期から幼果期の黒星病に、スコアM Z水和剤500倍はリンゴの開花期前後の主要病害に対して、実用性が高い。

[ねらい]

新しく開発された殺菌剤について、リンゴおよびナシの主要病害に対する防除効果を検討し、実用性の高い薬剤を県防除基準に採用して、病害防除体系の改善を図る。

[技術の内容・特徴]

1. 材料及び方法

各種病害の発生期に散布し、防除効果、薬害などについてこれまで用いられている殺菌剤と比較検討した。

2. 結果

- 1) ベルコート水和剤1,000倍は既採用のベフランと化学構造が類似した殺菌剤であり、リンゴの適用病害である斑点落葉病、輪紋病、すす点病、すす斑病、褐斑病、の予防効果に優れ夏期総合防除剤として位置づける（表1、表2）。
- 2) ベルコート水和剤1,500倍は、ナシの落花期以降の散布により黒星病に対し高い防除効果を示した（表3）。
- 3) スコアM Z水和剤500倍はE B I剤のスコア水和剤（4,000倍相当）とジマンダイセン（600倍相当）の混合剤であり、適用病害である黒星病、斑点落葉病、黒点病、うどんこ病の防除効果に優れている。黒星病の防除を主体とした開花期前後の殺菌剤として位置づける。またW S B（水溶性内袋）に100リットル単位で（200gづつ）包装されており、作業環境の改善ができる。

[普及対象範囲]

全県のリンゴ及びナシ栽培地域

[普及・参考上の留意事項]

1. ベルコート水和剤は芽出し2週間過ぎから落花25日頃まではリンゴにサビ果を発生する可能性があるため散布しない。
2. セイヨウナシ品種「ル・レクチェ」ではサビ果（ややくぼんだ円形～不整形リング状）を生じる。
3. リンゴ炭そ病には防除効果が劣るので、発生が予想される場合は炭そ病に効果のある薬剤を使用するか、混用する。
4. スコアM Z水和剤はトクチオン水和剤800倍との混用散布で‘世界一’の葉縁部に褐変を生じる薬害が1例あったため混用に注意する。

[具体的なデータ等]

表1 ベルクート水和剤の褐斑病に対する防除効果 (秋田果試 平3年)

薬 剤	発病そう率 (調査そう数)	発病葉率 (調査葉数)
ベルクート水和剤 1,000	3.4% (268)	0.4% (2,368)
トモオキシラン水和剤 500	10.2% (275)	1.4% (2,490)
無散布	54.1% (290)	16.9% (2,016)

散布: 6/25, 7/6, 17, 30, 8/13, 23, 9/6の計7回

調査: 9/13, 1区3樹各樹2側枝の全葉

場所: 場内 スターキング・デリシャス (マルバ台) 7年生

表2 ベルクート水和剤の斑点落葉病に対する防除効果 (秋田果試 昭62年)

薬 剤	7月28日		8月26日	
	発病葉率 (調査葉数)		発病葉率 (調査葉数)	
ベルクート水和剤 2,000	13.9% (685)	22.2% (874)		
オキシラン水和剤 500	30.3% (779)	33.1% (976)		
無散布	69.6% (810)	82.2% (1,085)		

散布: 6/15, 30, 7/17, 8/6, 15の計5回

調査: 7/28, 8/26, 1区2~3樹の各樹10新梢

場所: 場内 スターキング・デリシャス (M26台) 7年生

備考: 褐斑病、すす斑病、すす点病、輪紋病に対する効果もある。

表3 ナシ黒星病に対する防除効果 (秋田果試天王 平10年)

供試薬剤	希釈 倍数	果そう葉			果 実			
		調査葉数	発病葉率	葉害	調査果数	発病果率	発病度	葉害
ベルクート水和剤	1500倍	228.3	0.0%	—	50.0	10.0%	2.4	—
ビスグイセン水和剤	800	230.0	0.0	±	50.0	7.0	1.4	—
無散布	—	199.5	0.0	—	45.0	28.9	11.1	—

供試品種: 幸水 (成木)

散布月日: 5月1日 (落花期)、7日、15日

調査月日: 8月10日

表4 スコアMZ水和剤の黒星病に対する防除効果 (秋田果試 平8年)

薬 剤	希釈 倍数	果そう葉		新 梢 葉	
		病葉率 (調査葉数)	病葉率 (調査葉数)		
スコアMZ 水和剤	500倍	0.2% (458)	0% (1226)		
オーソサイド水和剤	800倍	0.2% (459)	0.7% (1219)		
無 散 布	—	7.2% (502)	12.3% (1218)		

散布: 5/8, 24, 6/6, 22の計4回

調査: 7/2に1区4樹各樹20果叢及び20新梢の全葉

場所: 場内 王林 (マルバ台) 12年生

[発表文献等]

なし